

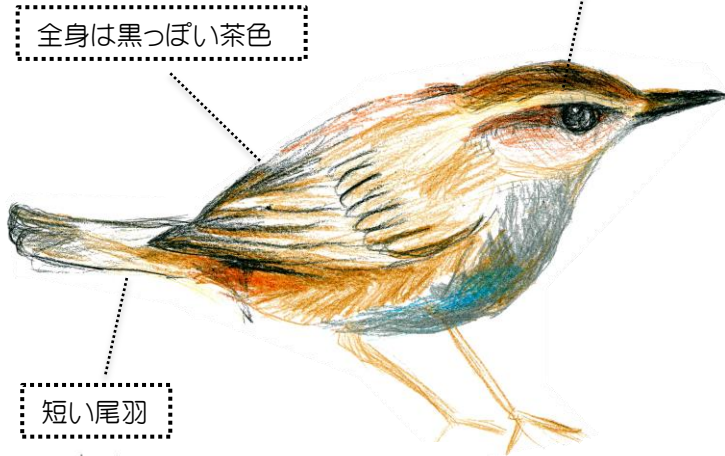


しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年5月号 No.378

小鳥の森で観察してみよう 67

ヤブサメ



分類：スズメ目ウグイス科

大きさ：体長10.5cm

生態：夏になると、東南アジアから日本に渡ってきて、山地のやぶの中で子育てをする。やぶにひそんでいることが多く「シシシ…」と高い声は聞こえても、姿を見ることがむずかしい。昆虫やクモなどを食べる。

小鳥の森での観察：小鳥の森では、カワセミの小径やホオジロの小径など、やぶの残あるところで鳴き声が聞こえる。

中村 るな 3年

今回の絵は、中村 るな さんが描いてくれました。

5月の自然予報

4月に引き続き、5月もちょっと遅めに渡って来る夏鳥が確認できる季節です。

特に、カッコウやホトトギスは、他の鳥の巣に卵を産んで、育ててもらっている（托卵する）ので、巣を作る必要がないことから、他の夏鳥と比べて毎年遅めに渡って来るようです。

この2種類は見た目がとても似ているのですが、托卵相手が違います。カッコウはモズやオオシキリなどに、ホトトギスは主にウグイスを相手に托卵します。

その他にも昨年は、エゾムシクイやサンコウチョウなどが、5月に入ってから確認されました

日にち	種名
2016/5/1	エゾムシクイ
2016/5/3	サンコウチョウ
2016/5/18	カッコウ
2016/5/28	ホトトギス



カッコウ



ホトトギス

4月の自然

早春の花、カタクリが3月24日に開花しました。しかしその後は気温が上がらず、満開は4月に入ってからになりました。群生する様子を楽しみに、たくさんのお客様が森を訪れてくださいました。なかには、果実になったカタクリを観察して、今まで見たことの無い姿を喜んでくださった方もいらっしゃいました。

その他にも春の訪れを待ち望んでいた植物が、次々と芽吹き始めた4月の小鳥の森でした。



カタクリ



カタクリ (果実)



ユキザサ



ナガハシスミレ

小鳥の森スタッフだより

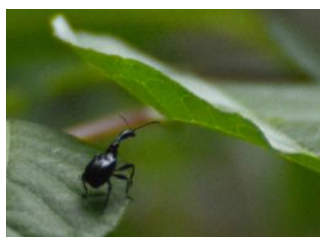
エゴノキを観察してみよう

5月になると様々な木々が花を咲かせる季節です。小鳥の森では、

この時期、エゴノキの白い花がとてもきれいで目立ちます。

エゴノキをよく観察すると、葉っぱが上手に巻かれているものが時々あります。これは、『エゴツルクビオシブミ』という昆虫が巻いて、中に卵を産み付けているのです。

運が良いと黒い体の成虫も見られるかもしれませんが、エゴノキを見つけたらぜひ探してみたいかがでしょうか。



(いがらしレンジャー)

小鳥の森出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や、森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたり、調整したりすることもできます。(クラフトの材料等は放射線量の低い地域や県外からの寄付で頂いたものを使用しています。)

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。(※既に希望の日程に予約が入っている場合は対応できない事もありますので、ご了承下さい。)



出前講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日: 毎週月曜日 (祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年5月号No.378/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま